

橋孝二郎

はしこうじろう

農本主義者。

明治二十六年二月十八日茨城県水戸

生れ、昭和四十九年三月二十日歿（八二—一九七五）。第一高等學校中退。

大正九年兄義村を創設、昭和四年愛郷會を組織し、機關誌『農村研究』を發刊して農村青年の教化に奮む。六年愛郷塾開設、井上白呂等を知り、翌年の五・一五事件に塾生を率ゐて参加、發賣所を襲撃して無期懲役となる。十五年假出所後は著述に専念。

著書 『日本愛國革新主義』（昭和七年五月） 『日本建設社』、『農業本

質論』（昭和七年七月） 『日本建設社』、『家族の獨り』 『農法』（昭

和九年四月） 『日本建設社』、『王道國家・農本建國論』（昭和十年

五月十五日建設社）、『土の哲學』（昭和十六年一月） 『日本建設

社』等。